



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 ウシオ電機株式会社

コード番号 6925 URL <http://www.ushio.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 菅田 史朗

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 神山 和久

TEL 03-3242-1811

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	35,596	4.4	2,734	△31.0	3,786	1.5	3,429	27.3
23年3月期第1四半期	34,100	34.2	3,965	262.8	3,729	88.7	2,693	52.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,810百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △2,929百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	25.68	—
23年3月期第1四半期	20.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	217,487	157,642	71.7
23年3月期	217,292	157,867	71.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 155,983百万円 23年3月期 156,166百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	22.00	22.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	80,000	13.6	6,500	△17.1	7,500	△11.0	5,500	△4.7	41.19
通期	175,000	20.6	16,500	17.6	19,000	9.4	12,000	25.3	89.86

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	139,628,721 株	23年3月期	139,628,721 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	6,086,890 株	23年3月期	6,086,575 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	133,541,924 株	23年3月期1Q	133,546,257 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済を顧みますと、東日本大震災の影響による厳しい状況の中、サプライチェーンの立て直しが進み、生産・輸出が回復傾向にありました。しかしながら、電力不足、原子力災害及び原油や資源価格高騰の影響に加え、デフレや雇用情勢の悪化懸念も残っており、依然として不透明な状況が続いております。

米国経済におきましては、設備投資や個人消費の増加が続いているものの、そのテンポは鈍化しており、また住宅価格の下落や高水準の失業率も依然継続しており、景気回復が緩やかになっております。

欧州経済におきましては、ドイツやフランスを中心に景気は総じて持ち直しておりますが、国ごとにばらつきが大きく、一部のユーロ加盟国の財政危機が深刻化しており、金融システムへの懸念、また高水準の失業率の継続が、景気の低迷要因となっております。

アジア経済におきましては、中国やインドにおいて内需中心に景気が拡大しており、その他の地域も景気は回復しておりますが、総じてそのテンポは弱まりつつあり、物価上昇によるリスクも存在しております。

このような経済環境のもと、当社グループに関連する液晶・半導体市場では、液晶テレビやノートパソコンの世界的な需要の減速が顕在化し始め、大型液晶パネル及びPCモニターの出荷が落ち込んだほか、DRAMやフラッシュメモリの価格下落が見られたものの、スマートフォンやタブレット型端末は大幅なマーケットの拡大が進んでおり新規の需要増加が見られました。

また、シネマプロジェクト関連市場では、世界中でデジタル化や投資スキームの活性化もあり、デジタルシネマプロジェクトの出荷台数の増加が続いております。

以上のような状況の中、当社グループでは、生産性の向上や製造コストの低減、経費の圧縮、海外展開強化に向けた販売体制の整備・拡充、海外生産シフトの促進等、引き続き、全グループを挙げて業績の向上に注力してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高で前年同期比4.4%増の355億9千6百万円、営業利益で対前年同期比31.0%減の27億3千4百万円、経常利益で対前年同期比1.5%増の37億8千6百万円、四半期純利益で対前年同期比27.3%増の34億2千9百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (光源事業)

光源事業におきましては、露光用UVランプやシネマプロジェクト用クセノンランプなどのリプレイス需要は堅調に推移したものの、一般照明用ハロゲンランプの需要が低調に推移いたしました。

その結果、売上高は前年同期比11.8%減の135億4千5百万円、セグメント利益は前年同期比17.5%減の19億9千7百万円を計上いたしました。

#### (装置事業)

装置事業におきましては、光学装置分野ではLED関連、その他電子部品関連製造装置などが堅調に推移いたしました。一方、液晶・半導体関連製造装置の販売は低調に推移いたしました。一方、映像装置分野ではデジタルシネマプロジェクトの販売が拡大しており、ノンシネマ製品も好調に推移いたしました。またEUV光源装置は研究開発投資が先行いたしました。

その結果、売上高は前年同期比17.9%増の214億5千6百万円、セグメント利益は前年同期比55.8%減の6億6千5百万円を計上いたしました。

#### (その他事業)

その他事業の産業機械関連製品におきましては、射出成形市場に落ち込みが見られたものの、食品包装市場の設備投資需要は底堅く推移いたしました。

その結果、売上高は前年同期比2.5%減の7億9百万円、セグメント利益は前年同期比43.8%減の2千1百万円を計上いたしました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、2,174億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9千5百万円増加いたしました。主な増加要因は、余資運用による「有価証券」の増加、市況回復に向けた「仕掛品」及び「原材料及び貯蔵品」の増加であります。主な減少要因は、関連会社株式の売却による「投資有価証券」の減少であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、598億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億2千万円増加いたしました。主な増加要因は、商量増加に伴い運転資金需要が増したことによる「短期借入金」の増加であり、主な減少要因は、賞与の支払いによる「賞与引当金」の減少であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,576億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2千4百万円減少いたしました。主な増加要因は、当連結累計期間に獲得した「利益剰余金」であり、主な減少要因は、円高による「為替換算調整勘定」の減少及び配当金の支払いであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境を展望いたしますと、東日本大震災により混乱したサプライチェーンの立て直しが進み回復傾向にあります。電力不足や原子力災害等の影響に加え、円高の進行や回復傾向であった世界経済に減速懸念があり、予断を許さない状況が継続するものと考えております。液晶・半導体市場においても不透明感はあるものの露光用UVランプや光学装置は底堅く推移し、また映像関連市場においては、デジタルシネマプロジェクトやシネマプロジェクト用キセノンランプが堅調に推移していくものと想定しております。

このような情勢下におきまして、当社グループは重点事業である「映像・画像事業」「固体光源事業」「高密度実装事業」「露光事業」を中心に、当社グループの強みである光源・光学技術を最大限活用した最先端分野での研究開発の推進等、生産・販売・開発の全てにわたり諸施策を鋭意推し進め、グループ全体の更なる事業基盤強化を図ってまいります。また、現在の厳しい市場環境に対応すべく、引き続き徹底した製造・管理コストの低減、新製品の開発や新規分野への用途開拓、新規事業の展開を積極的に進めてまいります。

なお、平成23年5月11日に公表いたしました連結業績予想においては東日本大震災の影響により第2四半期連結累計期間の公表を見送らせていただきました。

本日、当連結会計年度の連結業績予想は修正を行っておりませんが、第2四半期連結累計期間の連結業績予想を公表させていただきました。

これらの業績見通しにおける為替レートは、82円/米ドル、110円/ユーロを前提としております。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,496	38,153
受取手形及び売掛金	34,300	32,094
有価証券	8,447	11,353
商品及び製品	23,065	23,037
仕掛品	6,675	8,967
原材料及び貯蔵品	9,766	10,896
繰延税金資産	4,593	4,034
その他	5,805	6,653
貸倒引当金	△419	△368
流動資産合計	130,730	134,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,231	31,152
減価償却累計額	△15,523	△16,023
建物及び構築物(純額)	15,708	15,129
機械装置及び運搬具	22,608	22,742
減価償却累計額	△17,166	△17,546
機械装置及び運搬具(純額)	5,441	5,196
土地	8,849	8,487
建設仮勘定	1,126	1,438
その他	19,058	19,701
減価償却累計額	△13,726	△14,380
その他(純額)	5,331	5,321
有形固定資産合計	36,457	35,571
無形固定資産	3,039	4,135
投資その他の資産		
投資有価証券	45,134	40,980
長期貸付金	25	29
繰延税金資産	510	560
その他	1,536	1,517
貸倒引当金	△142	△131
投資その他の資産合計	47,064	42,956
固定資産合計	86,561	82,664
資産合計	217,292	217,487

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,052	16,590
短期借入金	6,512	8,051
1年内返済予定の長期借入金	849	411
未払法人税等	3,564	4,061
繰延税金負債	129	10
賞与引当金	2,819	1,283
製品保証引当金	2,337	2,141
受注損失引当金	103	15
その他	7,089	9,042
流動負債合計	41,458	41,608
固定負債		
長期借入金	4,922	5,264
繰延税金負債	8,277	7,684
退職給付引当金	1,053	1,311
役員退職慰労引当金	112	161
資産除去債務	194	195
その他	3,406	3,618
固定負債合計	17,966	18,236
負債合計	59,424	59,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,556	19,556
資本剰余金	28,371	28,371
利益剰余金	116,831	117,323
自己株式	△9,215	△9,215
株主資本合計	155,544	156,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,245	12,495
為替換算調整勘定	△11,622	△12,547
その他の包括利益累計額合計	622	△52
少数株主持分	1,700	1,659
純資産合計	157,867	157,642
負債純資産合計	217,292	217,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	34,100	35,596
売上原価	22,270	23,853
売上総利益	11,829	11,743
販売費及び一般管理費	7,864	9,008
営業利益	3,965	2,734
営業外収益		
受取利息	58	66
受取配当金	312	349
売買目的有価証券運用益	—	9
持分法による投資利益	641	54
投資有価証券売却益	—	728
その他	186	125
営業外収益合計	1,199	1,334
営業外費用		
支払利息	46	59
為替差損	773	157
売買目的有価証券運用損	213	—
控除対象外源泉税	34	—
その他	366	66
営業外費用合計	1,434	283
経常利益	3,729	3,786
特別利益		
固定資産売却益	6	0
投資有価証券売却益	—	2,972
特別利益合計	6	2,972
特別損失		
固定資産除却損	115	20
固定資産売却損	2	—
減損損失	—	437
投資有価証券評価損	145	83
事業整理損	—	314
会員権評価損	60	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	100	—
特別損失合計	423	855
税金等調整前四半期純利益	3,313	5,903
法人税、住民税及び事業税	513	2,840
法人税等調整額	35	△425
法人税等合計	549	2,414
少数株主損益調整前四半期純利益	2,763	3,488
少数株主利益	70	59
四半期純利益	2,693	3,429



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,763	3,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,558	251
為替換算調整勘定	△3,140	△941
持分法適用会社に対する持分相当額	5	12
その他の包括利益合計	△5,693	△678
四半期包括利益	△2,929	2,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,873	2,754
少数株主に係る四半期包括利益	△55	55

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等  
(セグメント情報)

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,269	18,147	33,416	683	34,100	—	34,100
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84	45	129	44	173	△173	—
計	15,353	18,192	33,546	727	34,274	△173	34,100
セグメント利益	2,421	1,504	3,926	38	3,964	0	3,965

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械及びその他事業等を含んでおります。  
2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,501	21,420	34,921	675	35,596	—	35,596
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	36	80	34	114	△114	—
計	13,545	21,456	35,002	709	35,711	△114	35,596
セグメント利益	1,997	665	2,663	21	2,684	50	2,734

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械及びその他事業等を含んでおります。  
2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。